教育委員会会議の概要（令和６年７月臨時会）

◆　日　　時　令和６年７月２２日（月）午後２時００分から午後５時０２分まで

◆　場　　所　教育局　第１会議室

◆　出　席　者

教　育　長	天 野　　元	出席
委員・教育長職務代理者	花 渕　　浩 司	出席
委　　員	川 又　　政 征	出席
委　　員	後藤　由起子	出席
委　　員	山 田　　理 恵	出席
委　　員	庄 司　　弘 美	出席
委　　員	長谷川　真里	出席

◆　会議の経過及び結果

１　開　　会

２　議事録署名委員の指名　　庄　司　　委　員

３　協　議　事　項

（１）令和７年度使用の仙台市立義務教育諸学校教科用図書の採択について

（教育指導課長、教育センター担当指導主事　説明）

【数学】

教　育　長　「数学」について協議を行う。事務局から、学習指導要領の目標等について説明をお願いする。

教育指導課長　担当指導主事から説明する。

指　導　主　事　中学校「数学」では、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

（２）数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

（３）数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

以上のことを目標としている。

協議会において取りまとめた、中学校「数学」の全発行者の特長は、別添２、35か

ら36ページにお示ししている。
主な特長について、まずＡ者は、章の導入で数学的な見方・考え方の視点を示し、「数学の広場」では身近な内容を取り上げ、発展的な学習が展開できるように配慮されているということである。
Ｂ者は、内容ごとに「めあて」が記載されており、授業のはじめに本時のめあてがつかみやすくなるように配慮されているということである。
Ｃ者は、ノートのとり方や教科書の使い方が詳しく説明されており、主体的な学習が促されるように工夫されているということである。
Ｄ者は、０章「算数から数学へ」があり、小学校から中学校への学びの接続に配慮されているということである。
Ｅ者は、「次の章を学ぶ前に」で、問題を解くことにより、既習事項の振り返りをしてから新しい章に入ることができるように工夫されているということである。
Ｆ者は、キャラクターが会話する場面を通して、生徒が様々な視点で学習を進めていくことができ、興味・関心を引くように工夫されているということである。
Ｇ者は、章末に振り返りのページがあり、基礎的・基本的な内容の定着と主体的な学びができるように工夫されているということである。

教　育　長　ただいまの事務局の説明について、何か質問はあるか。

（質疑なし）

教　育　長　各発行者の教科書見本本にご意見をいただきたいと思う。

花　渕　委　員　Ａ者は、「例題」と「問」の間に例題に類似した「たしかめ」があり、これが非常に効果的で、基礎的・基本的な内容の定着に有効ではないかと思った。
Ｂ者は、「プラス・ワン」や「補充問題」「力をのばそう」などが設けてあり、子供たちが習熟度に応じて取り組むことができるように工夫されていると思った。
Ｃ者は、基礎・基本を定着させるために、「例」「例題」「問」が適切に配置されていると思う。さらに、章末や巻末には発展的な問題も取り上げられていると思った。
Ｄ者は、例題の理解を確認する問題や、「クイックチェック」「補充の問題」で基礎的・基本的な内容の定着を図っており、「章の問題」や「活用の問題」で発展的な学習を進めるような配慮もなされていると思った。
Ｅ者は、各章・節では大切な見方・考え方を示すことで、生徒が数学的な見方・考え方を働かせながら、日常的に基礎的・基本的な知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を育成できるように工夫されていると思った。
Ｆ者は、「Ｑ」や「ＴＲＹ」の数学的活動を通して新しい内容を学ぶことができるように工夫されていると思った。また、各項目の最後には練習問題を配置して、反復練習ができるようにも配慮されていると思った。
Ｇ者は、「トライ」や「Ｔｅａ　Ｂｒｅａｋ」などの発展的な問題や、基礎的・基本的な復習問題があるなど、多様な能力に対応していると思った。

川　又　委　員　まず、全般的なところだが、数学の教科書は、数学という分野の性格上、本質的な内容が各者で異なるということはないと思う。異なるところは、各単元の導入の仕方や内容を理解した後での応用の仕方であり、生徒が数学嫌いにならないような工夫だと思う。
Ａ者は、各章の前書きで自然や社会の物事と数学との関係性を示し、そこで湧いてくる疑問を解決したいという点を非常にうまく提示している。「巻末　数学ライブラリー」では、日常生活での数学の活用や、遊び、楽しさ、数学の歴史等を紹介している。
Ｂ者は、特長的なところとして、巻末にとじ込みの付録があり、立体的な図形、正二十面体が組み立てられるようになっている。また、巻末では切り紙の例が多数あり、図形の対象性の学習を手作業でできるようになっている。また、「数学の世界へようこそ」があり、ここでは身の回りの出来事に対しての数学的な思考を紹介している。２年生の教科書では、「数学ブックリスト」があり、素数ゼミや折り紙、数学に関する小説等の本が紹介されており、これが非常に楽しいと思った。
Ｃ者は、まず様々な個性を持つ多数の人物が登場し、その人たちの言葉や動作、つ

ぶやきで、その時々の注目すべき点がうまく分かるようになっている。また、「数学ライブラリー」では、数学に関わる日常的な話題や歴史、エピソード、数学に関係する人物の紹介が多数取り上げられている。

Ｄ者は、全体として紙面が非常に見やすくできていて、大きなフォント、大きな図版が多数使用されている。余白も多くあり、書き込みがしやすくなっている。また、社会やＩＣＴ、日常生活と数学とのつながり重視された教科書の内容になっていると思う。

Ｅ者は、巻末がとても充実しており、「ふり返りシート」がついていて、数学の話題についてのまとめを記入し、実際に作業をしながら振り返りを行う内容となっている。「数学　マイトライ」では、ＳＤＧｓと数学、数学と仕事、数学の研究室などの話題を紹介して、とても楽しい内容となっている。また、数学とプログラムの関係など、プログラミングの内容が入っており、Ｓｃｒａｔｃｈを使ったフラクタル図形の描き方や多角形の描き方が提示されている。

Ｆ者は、紙面が非常に分かりやすくできており、計算方法の図示等も簡潔・明快な図面になっている。また、巻末にある「数学旅行」では、数学と職業、数学者の伝記、和算、生活の中の数学的な題材を数多く取り上げている。

Ｇ者は、生徒が登場し、その時々の重要ポイントを解説したり、問い掛けをしたり、次の段階へ誘導している。この点が非常に分かりやすくなっている。巻末では「さらなる数学へ」があり、協働学習のページになっていて、ＳＤＧｓと数学、気温や海面の温度の上昇との関係について数ページを割いて説明している。数学的な見方・考え方を整理し、数学的に表現する力、発表する力を養うことにつながる説明がなされている。

後　藤　委　員　Ａ者は、章の始まりに、学ぶ内容と関連する写真を載せたり、「数学の広場」では身近な問題を取り扱ったりと、生徒の興味・関心を引く工夫があると思った。また、吹き出しの台詞が多いが、ポイントを押さえており、語りかけから気付きを促すような工夫があると感じた。

Ｂ者は、「もっと数学の世界へ」の内容が大変興味深く、充実していると思った。実社会で数学に携わっている方からのメッセージを載せることにより、学びが社会でどのように役立つかを具体的に考えることができると思った。「活用・探究」「つながる・ひろがる・数学の世界」というコーナータイトルからも伝わってくるように、数学を広げて社会につなげていこう、社会に生かそうという配慮が見られると思った。

Ｃ者は、学びの目当てが黄色い囲みの文字で示されており、とても分かりやすいと思った。「例題」から「問」につながる配列も分かりやすく、学習の定着に有効ではないかと考えた。「数学ライブラリー」は、興味・関心を引く工夫としてとてもいいと思った。加えて、重要問題や大切な公式が分かりやすく丁寧に示されている点も生徒の発展的な学習につながっていくと思う。また、数学での言語活動を発展させる工夫として「話しあおう」があり、これで思考力の育成に配慮されていると感じた。

Ｄ者は、章や節のはじめで写真や絵を使い、身の回りの問題を数学的な視点で考えさせ、生徒の興味・関心を引くという工夫があった。「数学の自由研究」は、身の回りの問題について、数学を利用して考える楽しさを教えていて、とてもよいと思った。例題と問いの並びも分かりやすく、配列が工夫されていると思う。

Ｅ者は、例題の後すぐに重要事項を括弧書きで示しているため、大切なことがはっきり明瞭で伝わりやすく、分かりやすいと思った。また、間違いやすい箇所をあえて教えたり、模範解答のポイントを具体的に示したりしている点も、実践的な学びにつなげられる工夫であると思った。

Ｆ者は、すっきりとした配列で余白があり、数学に苦手意識のある生徒でも学びに入りやすいのではないかと思った。レポートの書き方を丁寧に説明している点など、基礎的・基本的な知識の習得に配慮されていると思った。

Ｇ者は、例題から問いというよりも、むしろ問いから始まり例題を表示する順になっており、まず疑問を持たせ、主体的な学びが促されるように工夫されていると思った。「疑問を考えよう」という一工夫あるタイトルからも伝わってくるが、生徒に問

いを持たせ、思考力や主体的な学習態度の育成に努めようという配慮がされていると思った。

山　田　委　員　Ａ者は、「巻末　数学ライブラリー」に、学んだことの活用方法、小学校の算数の振り返り、多数の補充問題などが含まれており、数学の楽しさが分かる内容になっている。また、「数学の広場」に社会の中で数学が活用されている例が掲載されており、点字の仕組みや地球温暖化問題など、身近な内容を紹介しているのがよいと思った。

Ｂ者は、「考えよう」と「めあて」で、その章で学ぶポイントを最初に示している。「○○章をふり返ろう」の問題の次に「力をのばそう」という学びを生かして挑戦する問題があり、さらに「学びにプラス」という発展問題が載っているのもよいと思った。巻末にある「もっと数学の世界へ」などの「課題学習」や「ＭＡＴＨＦＵＬ」では、暮らしに役立つ数学、江戸時代の数学や他教科とも関連する内容を示しており、生徒が興味を持つ工夫がされていると思った。

Ｃ者は、はじめに、数学の学び方、教科書の使い方、ノートのとり方などが詳しく説明されている。また、「同じように考える」「すでに学んだ形にする」「条件をかえる」などの標識がところどころに記載されており、問題を解決する際に役立つ考え方を示しているのが大変よいと思った。巻末の「数学広場」の「学びをいかそう」に、防災やＳＤＧｓ、社会見学、さらに教科書の特長として消費者教育など、社会生活と関連する身の回りで数学を利用する問題が示されているのもよいと思った。

Ｄ者は、０章として算数から数学へのつながり、数学の面白さについて丁寧に説明している。また、例題で式の解き方を示し、問いで自ら検算を繰り返すことで解き方が身に付き、複数の生徒の解き方の例を示して比較することで、１つの方法だけではない様々な考え方を示している点がよいと思った。また、章の初めに、イラストや写真とともに生活に関係した問題、例えば合唱コンクールのくじ引きなどを取り上げて、学習内容に入りやすい工夫がされている。

Ｅ者は、巻末の「数学 マイ トライ」に、ＳＤＧｓと数学、数学を仕事に生かす、また、数学研究室で計算のコツや考え方、プログラムと数学のアルゴリズムの考え方など、数学的な見方や考え方の育成につながる工夫がされていた。各章に入る前に、「次の章を学ぶ前に」があり、それまでの振り返り後に本編の学習に入ることができるようになっている。

Ｆ者は、各章に入る前に、振り返りがある。それまでに習った内容が書かれており、本編の学習に入りやすくなっている。また、「ＴＲＹ」に○○しようとあり、複数の生徒が意見を交わす形で考え方を導いている。吹き出しを使い対話形式でヒントを出しており、理解しやすいように工夫されている。

Ｇ者は、１学年に何回か振り返りのページがあり、基礎的な内容の定着が図れるようになっている。また、１年生のページ番号のところに素因数分解した式が書いてある点が面白いと思う。数字遊びの感覚を身に付けるような工夫がされていると感じた。

庄　司　委　員　Ａ者は、各章のはじまりに「○○を学習する前に」、また終わりには「学習のまとめ」があり、基礎的・基本的な学びの確認ができるように工夫されている。「数学しごと人」では、社会に出ても数学的な考え方が役立つことや、こつこつと学習することの大切さなど、中学生へのメッセージを送っている点が大変よいと思った。

Ｂ者は、はじめに小学校や前学年までに学んだ内容が記載され、また、章の終わりには「○○章をふり返ろう」「力をのばそう」と基礎的・基本的な学びから応用する力まで確実に身に付けられるような工夫がされている。「社会にリンク　発見！仕事のなかの数学」では、社会で活躍している方々の紹介があり、中学生へのメッセージを送っているところがよいと思った。

Ｃ者は、「数学ライブラリー」で他教科と関連した記事が大変多く掲載されていて、興味・関心が持てるようになっているところがよいと感じた。

Ｄ者は、「大切にしたい数学の学び方」「数学マイノート」で、取組方法の紹介が丁寧にされていて、主体的な学習ができるよう工夫されていると感じた。「０章　算数から数学へ」があり、小学校から中学校へスムーズな接続を図ることができるようになっている。「数学の自由研究」では、自ら進んで考えたり調べたりする課題があ

り、数学だけではなく、ほかの教科や普段の生活と関連した課題に取り組めるように工夫されていると感じた。

Ｅ者は、はじめに「数学の学習を始めよう！」「学びに向かう力を育てよう！」「数学的な見方・考え方を身につけよう！」「ノートのくふう」で、学習を進めるうえで大切なことが丁寧に掲載され、学び方を理解し、主体的に進めるようになっている。また、新しい章に入る前に、「次の章を学ぶ前に」があり、これまでに学習した内容と次に学習する内容のつながりがスムーズになるように工夫されていると感じた。

Ｆ者は、章の前ページに「ふりかえり」があり、小学校や前の学年で学習したことを振り返ることができるようになっている。「数学旅行」では、数学と普段の生活や身の回りの数学的事象、ほかの教科との関連が示されている。

Ｇ者は、各章でまず課題を見いだす導入部分があり、課題解決し、新たな学習内容に入っていく、基礎的・基本的な内容から学習のまとめへと段階的に学べるようになっている。「さらなる数学へ」というところでは、数学の問題を解決するときに学んだ見方・考え方を生かして、ほかの部分でもこういった課題解決する力を育むように工夫されていると感じた。

長谷川　委　員　Ａ者について、導入の「Ｌｅｔ’ｓ　Ｔｒｙ」は、身近な題材や取り組みやすい活動を取り入れており、学習に入りやすいと思った。また、実社会で活躍している方を紹介するコーナーとして「数学しごと人」があり、社会とのつながりや他教科との関連が図られていると思った。

Ｂ者について、章末の「社会にリンク　発見！仕事の数学」が興味深いと思う。職業と数学の関連に触れるなど、学習意欲を高める工夫がある。ほかの教科書でも見られるが、このＢ者ではページの左に一貫して学習の流れが示されており、分かりやすいと思う。また、「ノートの作り方」「研究しよう」「レポートを書こう」などの学習の手引きも豊富だと感じた。

Ｃ者について、ほかの教科書でもあるが、こちらもページの左に一貫して学習の流れが示されていて、生徒が今どの位置にいるのかというのが分かりやすいと思う。「説明しよう」「話しあおう」など協働して問題を解決する場面があるので、対話的な学びが発展する工夫があると思う。そのほか、消費者教育や中高連携などの発展的・応用的な内容も含まれているのが特長だと思う。

Ｄ者について、練習問題は過度な負担にならない分量で、基本的な力が身に付くように工夫されているが、それと同時に「補充の問題」「学びのベース」「数学の自由研究」などの応用的・発展的な学習が行えるような工夫もある。「もっと数学をつなげよう」は、より応用的な内容になっていると思う。

Ｅ者について、レイアウトがすっきりとして、読みやすく、教科書として使いやすいと思った。身近な事象から生徒が疑問に感じる課題が示されており、学習意欲を高める工夫がされていると思った。

Ｆ者について、共に学ぶキャラクターが設定され、そのキャラクターが生徒の学びを深めるために効果的に使われていると思った。

Ｇ者について、章末に、基本、応用、活用、深化の４つに分類された問題が用意されていて、習熟度に合わせて学習できるようになっている。表現する方法、レポートの作成や発表のしかたが示されていると思う。

教　　育　　長　皆さんから今、特長について、ご意見をいただいたところである。

この種目は７者であることから、３者に絞り込んでいきたいと思う。各委員から３者を挙げていただきたいと思う。

花　渕　委　員　Ｃ者、Ｄ者、Ｇ者。
川　又　委　員　Ｄ者、Ｅ者、Ｆ者。
後　藤　委　員　Ｂ者、Ｃ者、Ｄ者。
山　田　委　員　Ｃ者、Ｄ者、Ｆ者。
庄　司　委　員　Ａ者、Ｄ者、Ｅ者。
長谷川　委　員　Ａ者、Ｃ者、Ｄ者。
教　　育　　長　Ａ者が２、Ｂ者が１、Ｃ者が４、Ｄ者が６、Ｅ者が２、Ｆ者が２、Ｇ者が１となっ

たため、上位はD者が６、それからC者が４ということだが、A者、E者、F者それぞれ２となっている。この３者について、１者に絞りたいと思う。
　同点となったA者、E者、F者について、それぞれその３者を推薦された委員の方からまずご意見を伺いたい。川又委員はE者、F者をご推薦しているが、どちらがよろしいか。

川　又　委　員　私は、F者を推薦したいと思う。

教　　育　　長　庄司委員がA者とE者だが、どちらがよろしいか。

庄　司　委　員　E者である。

教　　育　　長　そうすると、庄司委員はE者ということである。E者とF者を川又委員、庄司委員としては推したいということである。

（異議なし）

教　　育　　長　まず、これを無理に３者に絞るということはせず、C者、D者、E者、F者で議論を進めていきたいと思う。それでよろしいか。

（異議なし）

教　　育　　長　そのC者、D者、E者、F者、４者の中で１者を推薦いただきたいと思うが、その前に、事務局に対して何かご質問、それからほかの委員に対するご意見などはあるか。

（質疑なし）

教　　育　　長　それでは、１者に絞り込んでいきたい。１者を推薦した上でご意見、その理由をお伺いできればと思う。

花　渕　委　員　私は、D者がいいと思う。先ほども言った問いの配列の仕方と併せ、虫めがねのマークを用いて、問題発見、解決の過程で自ら数学的な見方・考え方を働かせ、振り返りを意識させるように配慮がなされている。

川　又　委　員　私は、F者がよいと考えた。F者の教科書は、計算方法の趣旨や手順などが非常にはっきりと大きく書かれており、分かりやすい紙面構成になっていると思う。また、先ほどもお話ししたが、先生と４人のガイド役のキャラクターが登場し、その場その場でいろいろな誘導や、疑問点の整理のポイントを示している点が非常によいと思った。また、表紙がフクロウやイルカ、ゾウなど知恵や知識、学問に関係するようなイラストが使われているので、とても好感を持った。

後　藤　委　員　私は、C者とD者で甲乙つけ難く、悩んだが、C者を推薦させていただきたい。理由は、学びの目当てなどが囲み文字になっていてとても分かりやすい点、比較したときに、特に３年生の巻末の問題がとても充実しており、難し過ぎもせず、優し過ぎもせず、ちょうどいい難易度の問題が掲載されていたので、C者を推薦させていただきたいと思った。

山　田　委　員　私もC者とD者で、どちらも甲乙つけ難いと思って悩んだが、私はC者を推薦したいと思う。理由は、やはり先ほどお話しした消費者教育や、幅広い分野について巻末に載っていて、それがこの教科書の特長だと思う。

庄　司　委　員　私は、D者を推薦したい。「０章　算数から数学へ」で、小学校から中学校へスムーズな接続が図られるようになっている点が大変いいと思った。「数学の自由研究」で、自ら進んで考えたり調べたりする課題が設定されているところも、数学だけではなくほかの教科、また普段の生活と関連した課題に取り組めるように工夫されているところも大変よいと感じた。

長谷川　委　員　私は、C者を推薦する。その理由としては、基本的な力や数学的な力を身に付けるための練習問題が充実しているのに加えて、先ほど申し上げたように、消費者教育や、中高連携など、応用的なものが多く含まれている。私が一番詳しい内容と思ったのは、例えば標本調査について、その章を比較したときに、C者のほうがより本格的な内容を説明していると同時に、クラスの中で話し合って発展させる工夫もされており、基礎力もつくという意味でバランスが取れていると思った。C者を推薦する。

教　　育　　長　それでは、全体としてはC者を支持する委員の方々が一番多く、その次にD者、そしてF者ということになっている。もう少し議論をしていきたいと思うが、この段階で、何か事務局などに質問がある方はいるか。

（質疑なし）

教　　育　　長　確認事項がなければ、議論を進めてまいりたいと思う。まずは、川又委員はＦ者ということなのだが、ほかの委員のご意見に鑑みるとＣ者かＤ者かというようになってきているが、その２者に対してはどうか。

川　又　委　員　私は、全体としてはどれも本当によく書かれた教科書であると思う。本当に差を見つけることがほぼできないという感じではいる。私は先ほどＦ者がよいと言ったが、Ｆ者でなければ、Ｄ者ということでお願いしたい。Ｄ者は、非常に見やすい紙面構成となっているので、その点で非常に優位性があると思った。

教　　育　　長　川又委員としても、Ｄ者であればというようなお話であった。そうすると、Ｃ者とＤ者を推す委員が同数となったため、また議論を進めてまいりたいと思う。

Ｃ者とＤ者を比較された方がいるわけだが、後藤委員、山田委員は甲乙つけ難いということであった。花渕委員がＤ者、川又委員がＤ者、そして庄司委員もＤ者ということ、長谷川委員については、Ｃ者がよろしいのではないかというようなお話だったと思う。どなたか何かご発言はあるか。

なかなか難しい議論になってきたと思うが、例えば今まで、表現と体裁に関することで非常に見やすいというお話があった。また、学習と指導についてご意見があった。指導について身の回りのことから導入を促すことや、配列についてもいろいろとご議論があった。

その中で、この２つの中でどちらがよいかという点で、もう一巡だけご意見をお聞かせ願えればと思う。その場合に、Ｃ者とＤ者を比較し、その優位性についても少し言及いただきながらご意見をいただければと思う。

花　渕　委　員　皆さん悩んでいる。どちらの教科書もすばらしいというのは私も同じ意見である。先ほど事務局から、学習指導要領にある数学の目標として数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通してという説明があったが、Ｄ者の巻末に平面図から実際に立体を作ってみるという、まさに数学的活動を促す活動が設定されている点、まさにこれこそが数学的活動であり、数学的に考える資質・能力の育成につながっていくのではないかと思う。立体という三次元を二次元で表すのは、子供たちにとっては非常に難しいのだが、立体を平面にするというイメージを持つこと。ちょっとの差ではあるが、私はこのような活動が設定されている点から、Ｄ者のほうがいいのではないかと思い、改めて推薦したいと思う。

川　又　委　員　Ｃ者とＤ者という話でいうと、Ｄ者のほうがいろいろと生徒にとって興味のある話題が豊富に掲載されていると思う。「数学の自由研究」で、素数のひみつや、πの歴史、最近の話でいうと、エッシャーに挑戦しよう、フラクタル模様など、数学的な考え方で、最新の話題や世の中でも流行しているいろいろな数学的な仕組みについて扱っている。もう一点は、いろいろな生活や社会とのつながりがＤ者では重視されていて、特にＩＣＴとのつながりという点が非常に充実しているのではないかと思った。

後　藤　委　員　どちらの教科書を選んでも、本当に分かりやすく教えることができると思うので、どちらの教科書も、本当に甲乙つけ難いという言葉しかない。どちらも優れていると思う。先ほどから申し上げているとおり、最終的にＣ者を選んだ理由としては、巻末にまとめてある例題、巻末問題、章末問題、特に３年生の問題が工夫されていたという点で、Ｃ者の教科書は細部にわたり、一歩先の工夫があると思った。Ｃ者を推薦させていただく。

山　田　委　員　私も先ほどから同じことを話しているが、Ｃ者のほうが、消費者教育や、地震速報など災害に関するもの、身近な問題や社会生活についての問題を数学に落とし込んでいるところが一番よいと思った。災害もそうだが、お店で何かを売るときにどのような金額構成にすると一番よいかという点、いわゆる経済活動と直結して学んでいる内容を落とし込むものが案外少ないと感じている。今回教科書を見て感じることは、仙台市も、いかにスタートアップを増やすか、いかに自分で起業するかなどといった方向性を教育現場に結び付けるかだと考えている。売上げや、どのように利益を上げるかなどの学習内容が案外少ないとずっと感じていて、特に数学は数字をいかに経営に生かすかが重要と考える。その点に触れているのはこのＣ者だと思い選んだ。

庄　司　委　員　私は、Ｄ者を推薦する。思考力・表現力を高めようという「数学の自由研究」が、

計算するだけではなくて、数学的な考え方、それを生かしていろいろな身の回りの、生活に関連した課題に取り組むことで、楽しくわくわくするような、数学の先にある何か、もっと楽しく勉強できるようなヒントがあると感じた。

長谷川　委　員　Ｃ者もＤ者も、どちらもよい教科書だと思っている。どちらになったとしてもよい学びができると思う。あえてどちらかにしないといけないということだと本当に難しいが、例えば対話的な学びがどちらかしかできないこともなく、どちらもそれぞれのコーナーがあるし、問題の量や質も変わらないと思う。あとは本当にちょっとしたところでどこに注目するかである。例えばノートテイキングの仕方が、私から見るとＣ者のほうがより詳しく記載されており、子供もがすぐに応用できるように見開きで紹介してある。数学の学び方という点では、あえて言うならば、Ｄ者は直線的になっている点が、Ｃ者は円環になっている。それが、教科書をつくる上での発行者の方針や理念を表していると思う。基本を学んで、社会の応用につなげる点につながると思っている。

教　　育　　長　それぞれの委員から様々ご意見を伺ったところだが、ここで休憩を挟みたいと思う。３時15分に再開する。

（休憩　午後２時58分～午後３時15分）

教　　育　　長　それでは、協議を再開する。

「数学」については、本日の最後に改めて協議することとし、まずは次の種目である「技術・家庭（技術分野）」と「技術・家庭（家庭分野）」、「保健体育」について協議した後に、「数学」についてもう一度議論するということでよろしいか。

（異議なし）

教　　育　　長　では、そのように進めさせていただく。

【技術・家庭（技術分野）】

教　　育　　長　「技術・家庭（技術分野）」についての協議を行いたいと思う。学習指導要領の目標等について、事務局から説明をお願いする。

教育指導課長　担当指導主事から説明する。

指　導　主　事　中学校「技術・家庭（技術分野）で」は、技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。

（２）生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

（３）よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

以上のことを目標としている。

協議会において取りまとめた、中学校「技術・家庭（技術分野）」の全発行者の特長は、資料の別添２の37ページにお示ししている。

主な特長について、まずＡ者は、別冊の「スキルアシスト」に工具類の使い方やプログラミングについて詳しい説明が記載されており、生徒の理解につながるように配慮されているということである。

Ｂ者は、「問題の発見」、「問題解決の構想」、「プログラムの制作」、「問題解決」と、技術の見方・考え方を働かせながら、段階的に学習を進められるように工夫されているということである。

Ｃ者は、各章に実習例があり、基礎的・基本的な内容から発展的な学習までできるように工夫されているとともに、ページ下に豆知識が数多く紹介してあり、主体的に

学びを追究できるように配慮されているということである。

教　育　長　ただいまの事務局の説明について、何かご質問はあるか。

（質疑なし）

教　育　長　なければ、各発行者の教科書見本本にご意見をいただきたいと思う。

川　又　委　員　A者は、いわゆるものづくりに関する幅広い話題を取り上げており、将来の職業や仕事に結びつくような題材が多数掲載されている。別冊の「スキルアシスト」では、道具や工具の使い方が適切に整理されて紹介されている。また、ものづくりでいうと、電子工作や図画工作といった趣味にも結び付くようなものが紹介されている。

B者は、工業や産業における技術を数多く紹介している。この教科書の副題にもあるが、将来的なテクノロジーに関連した内容が豊富で、特に第４編のところでは情報技術について詳しく書かれている。現在のＩＴ、未来のＩＴ、それからプログラミングという内容が充実していると思った。

C者は、技術分野で重要な設計図や写真、回路図が非常に分かりやすく描かれており、紙面構成が全体として見やすく構成されている。内容が過剰になっておらず、よく精選された内容が簡潔に配置されていると思った。また、重要なこととしては、いろいろな作業の手順がイラストで非常に分かりやすく示されていた。

後　藤　委　員　A者は、技術を学び、生かす、振り返る流れで学習の定着を図っていると思った。「技ビト」や「先輩に聞いてみよう」などで様々な立場の人の意見を多数取り上げており、子供たち、生徒たちに実際の社会での技術学習の成果について、興味・関心を持たせるような工夫があると思った。別冊になっている「スキルアシスト」は、とても使いやすいと思う。

B者は、技術で未来を創るという学びの姿勢に環境への負荷、経済性を併せて考えさせる視点が使われていると思った。ページ下の「技術の工夫」で、生徒に興味・関心を持たせるような工夫も見られた。

C者は、製品化されている商品から、そこにつながっていく技術を振り返り、学びがどう生かされているかを主体的に考えさせる工夫があると思った。生徒の経験や興味・関心を大切にし、主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫がされていると思う。実社会で活躍する方の経験談がＱ＆Ａ形式で丁寧に掲載されていて、技術分野での学びと生活や仕事とのつながりを子供たちが学べるように、工夫されてあるのもよいと思った。

山　田　委　員　A者は、各編の最後の章に、社会の発展との関係、技術のプラス面とマイナス面、そして未来へ向けたメッセージが記載されている。新しい技術によるマイナス面もあることを説明しているのは重要な視点だと思った。「スキルアシスト」がついており、材料、加工技術、生物育成、情報技術について、それぞれの基本がまとめてある。題材例が多く、写真付きで分かりやすく説明がされていると思う。

B者は、ものづくりの基本である問題の発見、課題の設定から解決策の構想、実行、評価、改善の手順が示され、主体的に学べるように工夫されている。また、各章の最後に、未来への可能性についての記載があり、持続可能な循環型社会について言及し、そのために何ができるのかの説明があるのがよいと思った。

C者は、ガイダンスが詳しく、技術分野の学習の流れや問題解決の流れを例に挙げて分かりやすく説明しているのがよいと思う。また、コンピューターや情報機器の使い方など、現代社会の問題や注意点について言及しているのがいいと思う。また、物を作る上で必要な基本的な知識、設計、部品加工、穴あけ、表面加工などの技術についての説明が詳細に載っている。実習例も多い点がよいと思う。

庄　司　委　員　A者は、各編が「技術を見つめよう」「技術をいかそう」「未来をつくろう」で構成され、基礎的・基本的な内容から発展的な内容につながるよう、また、まとめのページで確認できるような工夫がされている。「スキルアシスト」という別冊があり、材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報の技術が詳しく記載され、理解が深まるような配慮があると感じた。

B者は、各編にこの編で学ぶこと、また各節の始まりに目標が示されており、見通しを持って学習が進められるように配慮されている。「技術分野のガイダンス」では、

３年間で学ぶ内容を示すとともに、小学校やほかの教科との関連が示されているため、学習の理解が深められるように工夫がされていると感じた。

Ｃ者は、学習の目標、課題、内容、「ＣＨＥＣＫ」の流れで学びの過程が大変分かりやすく示され、主体的に取り組めると感じた。ページの下には豆知識が数多く掲載され、基礎的・基本的な学びから発展的な学びへと展開できるように工夫が感じられた。

長谷川　委　員　３者ともすばらしいと思うため、なかなか特長をあげるのが難しいところだが、Ａ者は別冊があるというのが最大の特長のように見える。「スキルアシスト」がまとめられており、とても使いやすいと思う。

Ｂ者については、この編で学ぶ「目標」が示してあり、学習が進めやすいと思う。問題解決の方法が具体的に詳細に紹介されているので、それも特長の一つだと思う。

Ｃ者については、実験などで協力して結果を検証するような、協働的な活動ができる配慮がなされていると感じた。

花　渕　委　員　Ａ者は、皆さんがおっしゃっている「スキルアシスト」が特長であると思った。その中で、技術による問題解決の過程を、問題設定、設計、製作、評価の４段階で説明しており、問題解決の能力を育成できるように工夫されていると思った。

Ｂ者は、問題解決につながる技能が実践例として「ＴＥＣＨ　Ｌａｂ」にまとめてあり、取り組む課題に応じて習得した技能を適切に選択できるような配慮がなされていると思った。

Ｃ者は、各内容を、基礎・基本の定着、問題解決、技術と私たちの未来という構成とすることで、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学ぶ、学習に取り組む態度を育成できるように配慮されていると思った。

教　　育　　長　それでは、次の段階に進みたいと思う。Ａ者、Ｂ者、Ｃ者ということで３者であるので、これを基に議論していきたいと思うが、１者に絞り込んでいきたいと思う。

まず、この３者について、改めて確認したいこと、そして他の委員からのご発言などを受けての再度の発言などはあるか。

（質疑なし）

教　　育　　長　特になければ、１者に絞り込んでいきたいと考える。

それでは、１者に絞り込んだ上で、その理由をご説明いただければと思う。

川　又　委　員　Ｃ者を推薦する。理由としては、技術の分野で一番重要だと考える図面、写真、回路図等が非常に分かりやすく記述されていること。もう一つ重要なこととして、様々な作業手順のイラストがあり、非常に分かりやすく示されているので、安全に技術分野の学習ができるのではないかと思った。

後　藤　委　員　Ｃ者を推薦する。理由としては、実在している製品から技術を振り返り、学びがどう生かされているのかを考えさせており、生徒の経験や興味・関心を大切にし、主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫がなされていると思う。

山　田　委　員　Ｃ者を推薦する。技術分野の学びの流れ、問題解決の流れなど、例を挙げて分かりやすく説明している点と、例えば情報の通信ネットワークの仕組みなど様々な情報が非常に多く掲載されているのがよいと思う。

庄　司　委　員　Ｃ者を推薦したいと思う。学習の中で、問題解決をしながら学びを進めていくように自主的な取組ができること、生徒がその学習に興味・関心を持ちながら進めていくことができる点が大変よいと感じた。

長谷川　委　員　Ｃ者を推薦する。右上にちょっとした写真がついていたりするなど、紙面がとても工夫されていて、面白く楽しく学ぶ工夫がある。先ほども申し上げたが、対話的・協働的な活動ができる配慮が数多くあるので、Ｃ者を推薦したいと思う。

花　渕　委　員　Ｃ者を推薦したいと思う。技術分野の目標を踏まえ、日常生活と社会との関わりや、持続可能な社会の構築に向けた視点などを示してあり、将来をイメージしながら学習に取り組めるよう構成されていると思った。

教　　育　　長　皆さん、Ｃ者がよろしいのではないかということで、例えば設計図であったり回路図が非常に分かりやすく示されたり、実際の製品から逆算した形で技術が分かるように示されたりしている。ガイダンスも非常に詳しく掲載されている。また、現代的な、

例えばＩＣＴなどの情報も詳しく掲載されている。興味を喚起して主体的に学べるようになっている。また、対話的・協働的な学びができるし、知識を主体的に学ぶことができる等々、総合的に勘案してＣ者を採択の候補ということにしてよろしいか。

（異議なし）

教　　育　　長　それでは、「技術・家庭（技術分野）」については、Ｃ者ということでご議論いただいた内容を採択理由として、事務局で整理の上、７月26日に最終的に決定したいと思う。

【技術・家庭（家庭分野）】

「技術・家庭（家庭分野）」について協議を行う。事務局から、学習指導要領の目標等について説明をお願いしたい。

教育指導課長　担当指導主事から説明する。

指　導　主　事　中学校「技術・家庭（家庭分野）」では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

（２）家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

（３）自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

以上のことを目標としている。

協議会において取りまとめた、中学校「技術・家庭(家庭分野)」の全発行者の特長は、別添２、39ページにお示ししている。

主な特長について、まずＡ者は、「ふり返る」で毎時間の学習をＡＢＣで評価する欄や、学んだことを文章で記述する欄もあり自己の学びを振り返りながら、基礎的・基本的な内容の習得ができるように配慮されているということである。

Ｂ者は、各題材において、「自分の興味・関心を大切に」からはじまり、基礎的・基本的な内容の習得、課題解決的な学習を行って、最後に持続可能な社会に触れる配列となっており、自分事として考えられるように工夫されているということである。

Ｃ者は、「いつも確かめよう」では、家庭で実践できる内容が示され、実生活と関連付けながら必要な知識・技能を経験と照らし合わせて習得できるように工夫されているということである。

教　　育　　長　ただいまの事務局の説明について、何かご質問はあるか。

（質疑なし）

教　　育　　長　なければ、各発行者の教科書見本本にご意見をいただきたいと思う。

後　藤　委　員　家庭分野で身に付ける実践的な知識は、生きていく上でとても大切だと考えている。どの教科書も、学習指導要領で示されている内容を十分に満たしており、中学生に学んでほしい内容、例えば食べ物は自分の体をつくるということや、18歳成人に向けての消費者の立場から見た契約の知識なども十分に学べると思った。

Ａ者は、朝食について分かりやすく説明していた。中学生が自分で食について考え食べることができるように、朝食の例を写真で載せているのが具体的でとてもよいと思った。「家族関係をよりよくする方法を考えよう」では、どこの家庭でもあるような事例を用いて、誰にでも実践できるコミュニケーションによる問題解決の方法を学ばせているのがよいと思う。

Ｂ者は、「多様な家族関係」で現代的な家庭の問題を取り上げているのがよいと思う。ヤングケアラー、里親家庭で育った方などによる体験談を掲載しているのは、生徒たちに主体的に考えさせる上では必要な視点だと思った。中学生の今の年齢に骨がつくられるということを食習慣のページで学ばせているのも、とても大切な学習だと

思う。

Ｃ者は、社会での自立に向けて、自主的・主体的な学びが実現できるような工夫があると思った。「やってみよう」「考えてみよう」で思考力を育み、言語活動が充実するように配慮がある。また、チェックボックスや、教科書に直接記入できる図やグラフがあり、主体的な学びにつながる配慮があると感じた。

山　田　委　員　Ａ者は、はじめのガイダンスに、これから学ぶ家庭分野の内容についての説明があり、社会人として自立していくための学習内容や全体像が分かるようになっているのがよいと思った。また、難しい内容、例えば消費者トラブルなども漫画やイラストなどで分かりやすく示されており、理解しやすくなっている。

Ｂ者は、はじめのガイダンスで、自立と共生、生活課題への取組方、実習の仕方などを説明していて、家庭分野で何を学ぶのか、その方向性が示されている。問いかけから始まり、基本的な内容を学習し、最後に「持続可能な○○生活」にて、環境問題も含めて考えられるような流れになっている。

Ｃ者は、第１編第１章が「家庭分野のガイダンス」となっており、数ページにわたって説明されている。自立と共生、生活をよりよくする力を身に付ける家庭分野の見方・考え方などが詳しく書かれているのがよいと思う。この教科書は、各章の情報が大変詳細である。家庭分野や技術分野は、普段の生活に直接生きる情報がたくさんあり、全てを学習できなくても、困ったときに見ることができる参考書のような形になっていることは重要だと思った。

庄　司　委　員　Ａ者は、「自分の課題をもって学習に取り組もう！」で家庭分野の課題解決の進め方が大変丁寧に示され、自主的に取り組めるようになっている。「センパイに聞こう！」では、多方面で活躍する方々からのメッセージを通して習得した基礎的・基本的な学びから、自分の将来を考えるような発展的な学習につながるように工夫されていると感じた。

Ｂ者は、各章のはじまりに「自分の興味・関心を大切に」があり、基礎的・基本的な内容から発展的な学習につなげられるよう配慮されていて、最終的には持続可能な社会に触れるような工夫があると感じた。「先輩からのエール」では、社会で活躍する方々のメッセージが多く掲載され、自分の将来を考えられるように工夫があると感じた。

Ｃ者は、各編の「学習のまとめ」では、学習の確かめだけではなく、「学習を深めよう」「生活に活かそう」を通して、自分で生活の中から課題が見つけられるような工夫がされている。「プロに聞く！」では、学んだことをさらに深め、社会に生かし、生き生きと働いている人たちを数多く紹介している。学習に興味・関心を持ち、自主的に取り組めるよう、また自分の将来を考えられるように工夫されている点がよいと思った。

長谷川　委　員　家庭の機能や実態は、時代とともに大きく変わっていると思う。私は多様な家庭の機能を反映しているのかについても人権を尊重する心や他人を思いやる心にもかかわる重要な点だと考える。

Ａ者について、実践的・体験的な活動を多く取り入れて、生徒が興味・関心を持ち主体的に学ぶことができるような工夫がされている。先ほど申し上げた家庭の種類については、例えば「きのう何食べた？」という漫画とドラマが紹介されていて、多様な家庭のスタイルがあることを紹介している。また、ページの右上のところどころに「自立度チェック」があり、これも生徒が自主的に学べる力の育成につながると思う。

Ｂ者については、家庭の多様性をより強く取り上げていると思った。先ほどもヤングケアラーの話が出たが、多様な家族の紹介で、「ふたりママの家で」やいろいろな形態の家族があることを見開きページで詳しく紹介し、さらにはヤングケアラーなどの当事者の声が紹介されているなど、配慮があると思った。

Ｃ者については、導入、基本ページ、学習のまとめという構成で統一されていて、非常に学びやすいと思う。実践例も多く記載されているので、主体的に学ぶ力が身に付くと思った。

花　渕　委　員　Ａ者は、各内容が、導入、自己分析、基礎的・基本的な学び、自己評価、発展的な

学習という流れで構成されており、問題解決的な学習を通して資質・能力が身に付くような工夫がされていると思った。

Ｂ者は、「話し合ってみよう」「調べてみよう」「考えてみよう」「やってみよう」「発表してみよう」など、問題解決型の学習を設定して、言語活動の充実を図っていると思った。

Ｃ者は、基礎的・基本的な知識・技能をいつでも確認できるよう、既習事項をマークで示し、幅広い難易度の実習課題を掲載するなど、多様な個性や能力に配慮がなされていると思った。

川　又　委　員　Ａ者は、はじめに多くのページを使い、家庭分野全般の紹介が非常に優れた形でなされている。この教科書の使い方や、日本の年中行事と暮らしの関係等を紹介している。「センパイに聞こう！」では、様々な職業の方々からのメッセージやインタビューが掲載され、生徒の興味を引くような内容になっている。

Ｂ者は、イラストや写真、図面が非常に分かりやすく作られており、紙面構成も全体として非常に分かりやすくなっている。また、家庭分野で行う作業の手順がイラストで非常に分かりやすく示されている。

Ｃ者は、全体として、第１章、第２章で家庭分野の学習内容を説明している。ここでは、個人や学校、社会、地域、世界との関連性を非常によく説明し、家庭分野の問題意識を醸成している。また、ＳＤＧｓの視点では、「持続可能な住生活」「持続可能な消費生活」という章があり、ＳＤＧｓの視点が強調されている。

教　　育　　長　今回のこの種目については、３者ということで、この中から１者に絞り込んでいきたいと思うが、確認したいこと、他の委員から出た意見を踏まえ、ご質問があれば伺う。

（質疑なし）

教　　育　　長　なければ、１者を挙げていただきながら、その理由をお話しいただきたい。

後　藤　委　員　Ｂ者を推薦する。理由は、「多様な家族関係」で現代的な家庭の問題を取り上げており、現代の中学生に必要な視点かと思った。また、中学生の今の年齢で骨がつくられることを食習慣のページで学ばせるなど、必要な視点が必要な場所にあることも、とても配慮があると思った。

山　田　委　員　Ｂ者とＣ者で大変迷ったが、Ｃ者を推薦する。いろいろな情報が詳細に載っている点がポイントかと思う。

庄　司　委　員　Ｂ者を推薦したいと思う。課題が、自分事として主体的に取り組めるように工夫されている点が大変よいと思った。

長谷川　委　員　私もＢ者を推薦する。中学生という、思春期から青年期に、自分の個性、あるいは何らかのマイノリティーの属性に気づく年齢でもあり、そのときに家族が多様であることや、直接、性については書いていないが、その多様性に配慮されている。Ｂ者が子供の成長に合っていると思うからである。

花　渕　委　員　Ｂ者を推薦したいと思う。学習で習得した知識・技能などを実生活で活用するために多種多様な課題が豊富に設定されており、実践的な力を身に付けることができる内容であると思う。

川　又　委　員　Ｂ者を推薦する。Ｂ者の教科書は、実技的な科目の重要なこととして安全性の問題がある。この教科書では作業手順か非常に分かりやすく示されており、安全な学習ができると考えている。

教　　育　　長　皆さんのご意見を総合すると、Ｂ者については、実生活に生かせることや、手順が明確であること、多様な家族の課題を題材として選ばれていること、例えば今の自分の年齢に必要な栄養が話題となって取り上げられていること、主体的な学びにつながるような取り上げ方をしている点などがあげられた。また、Ｃ者についても、各章において詳細な説明がなされているというようなご指摘もあった。

総じて、Ｂ者のほうが多いという状況である。山田委員におかれても、Ｂ者とＣ者で大変迷ったということだが、Ｂ者ということでよろしいか。

山　田　委　員　はい。

教　　育　　長　そのようなことであれば、Ｂ者を採択候補とさせていただきたいと思う。

それでは、「技術・家庭（家庭分野）」については、ご議論いただいた内容を採択理由として、事務局で整理の上、７月26日に最終的に決定したいと思う。

【保健体育】

教　　育　　長　「保健体育」について協議を行いたいと思う。事務局から、学習指導要領の目標等について説明をお願いしたい。

教育指導課長　担当指導主事から説明する。

指　導　主　事　中学校「保健体育」では、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

（２）運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

（３）生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持・増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

以上のことを目標としている。

協議会において取りまとめた、中学校「保健体育」の全発行者の特長は、別添２の41ページにお示ししている。

主な特長について、まずＡ者は、「課題をつかむ」で学習のねらいを明確にし、章末には問題を振り返り、まとめることで、生徒が基礎的・基本的な学習を主体的に進められるように工夫されているということである。

Ｂ者は、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「活用する」「広げる」のスモールステップで構成され、基礎・基本の定着を図り、章末資料で学んだ内容を更に深めることができるように配列されているということである。

Ｃ者は、見開き１ページで授業のねらいから日常生活で学びを生かす流れで構成され、本文を左ページ、資料を右ページに分けて掲載することで、基礎・基本の定着が図られるように工夫されているということである。

Ｄ者は、「ウォームアップ」での課題発見から、「学びを生かす」で学びを深める活動という流れとなっており、基礎・基本の定着から発展的な学習が展開できるように工夫されているということである。

教　　育　　長　ただいまの事務局の説明について、何かご質問はあるか。

（質疑なし）

教　　育　　長　なければ、各発行者の教科書見本本に対してご意見をいただきたいと思う。

山　田　委　員　Ａ者は、「課題をつかむ」で問いかけ、「きょうの学習」で内容を把握し、最後に「学習のまとめ」で習ったことをグループディスカッションし、主体的・対話的に学べる流れになっている。特集資料が各章最後にあり、アレルギー、感染、災害、スマートフォン、ストレスなど身近な話題が紹介されていて、自分の生活と結びつけて考えられるように工夫されている。

Ｂ者は、「見つける」で問い掛け、学習目標を明らかにして、「活用する」で今後どのようにすればよいかを話し合う流れになっている。この「見つける」の問い掛けが非常に具体的で分かりやすいのがよいと思う。また、色、配置、字の大きさ等に配慮され、掲載されている情報量も多く、グラフや写真なども見やすくなっている。

Ｃ者は、本文の後の章末資料に、その章に関連する様々な参考資料が載っている。さらに、「学びを活かそう」で主体的に自分の考えをまとめ、対話的にグループで話し合うことでさらに理解を深める工夫がされている。また、自然災害の章に津波てんでんこの説明や災害の写真、もしものときのための説明などが詳しく掲載されているのがよいと思う。

Ｄ者は、「ウォームアップ課題の発見」の問いで、この時間で学ぶ課題を知り、「学習の課題」では「わかる」「考える」と分けて示し、「エクササイズ課題の解決」で

調べたり話し合ったりして課題解決につなげるようになっている。最後に「学びを生かす学びの活用」で、学んだことの活用について話し合う流れになっている。各章最後の「探究しようよ！」には、様々な学習内容と関連した内容が示されていて、そこから主体的に自分の考えをまとめるページとなっているのがよいと思う。コラムにスマートフォンと健康や、ストレス、アレルギー、メタボリックシンドロームなどのいろいろな情報が載っているのがよいと思った。

庄　司　委　員　A者は、つかむ、身につける・考える、まとめる・振り返る流れで構成されていて、見通しを持って学習に取り組むことができるようになっている。章のまとめでは、基礎的・基本的な学習内容の習得が確認できるようになっていて、学習したことを振り返り、日常の生活に生かすことを考えるよう工夫がされていると思う。

B者は、各単元が「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」のステップで示され、基礎的・基本的な学習の定着が図られるように工夫されている。章末の資料では、さらに学習を深めることができるよう配列されている。また、健康や安全に関する20のスキルをまとめた「巻末スキルブック」は、実習を行う際に大変見やすく、役立つ資料だと感じた。

C者は、各章単元に「学習のねらい」「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」が示されている。自主学習から話し合うことで言語活動が充実するような工夫がされている。章末にある「学びを活かそう」では、その章で学んだことがより深い理解につながるように配慮されていると感じた。

D者は、学習項目１単位、見開きの２ページ、または４ページの構成で、見通しを持って学習できるようにつくられている。右下には「とりくメーター」があり、取組具合を確認でき、「学びを生かす　学びの活用」では、学んだ知識をまとめたり、さらに深めたり活用できるような工夫がされていると感じた。

長谷川　委　員　保健体育ということで、体の側面、心の側面の両面から見ていった。先ほどから出ているが、A者については、つかむ、身につける、まとめるという３ステップの構成が分かりやすいと思う。性の多様性についても配慮していて、性のあり方は主に４つの要素の組み合わせで成り立っているとされるが、体の性、心の性、好きになる性、表現する性があることもきちんと紹介されている。

B者については、「巻末スキルブック」が特長的であり、とても使いやすいと思う。「活用する」で、実際に書き込んだり、みんなで話し合ったりできるような工夫がされている。A者と同じように、性の多様性について、分かりやすいイラストとともに詳しく紹介されている。

C者については、非常にカラフルで、見開きで情報が詰まっていて、教科書として学びやすいと思う。「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」などの様々な学習活動に取り組みやすいような工夫もある。

D者については、たくさん書き込みができるように、自主的に勉強できる工夫がある。「ウォームアップ課題の発見」「学習の課題」「エクササイズ課題の解決」「学びを活かす学びの活用」と学習の流れがあり、主体的・対話的な学習展開が図れるようになっていると感じた。

花　渕　委　員　A者については、「きょうの学習」として、本時で学ぶべき内容が明確に示されていると思った。また、各章のとびらには、学習内容や小中高の系統性を明記する配慮がなされていると思った。

B者については、保健体育科の目標を踏まえて、章ごとに学習することが示されており、ねらいを把握し、見通しを持って主体的な学習に取り組めるような配慮がなされていると思った。

C者については、各章末に重要な言葉を掲載し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、「学びを活かそう」では、発展的・実践的な学習が進められるよう配列されていると思った。

D者については、基礎的・基本的な事項が本文にまとめられ、「章のまとめ」によって習得した知識を確認でき、「生かそう」で発展的な学習につなげられるような配列がなされていると思った。

川　又　委　員　Ａ者は、まず、目次の後に国際的なスポーツ大会を数多く紹介しており、スポーツと健康、心の健康について、生徒の関心を引くようにしている。人間の成長として、幼児のとき、小学校、中学校のとき、将来大人になったときの成長とスポーツ、運動との関係を生徒にきちんと教えようというような点が強調されている。また、心身の発達、ＩＴ、個人情報、生活習慣病、災害といったような現代的な課題を詳しく記載しているところが特長かと思った。

Ｂ者は、はじめの導入部分として、「私たちの未来とＳＤＧｓ」「テクノロジーの進化と保健体育」「情報の活用－命を守るために－」では災害、感染症などに関しての項目があり、現代的な課題が踏まえられていると感じた。

Ｃ者は、導入部分として、保健体育の科目の意義を明確に示している。夢の実現、自己実現のために、この教科書はどのように構成され、どのように生かされ、これからどのように学んでいけばよいかが示されている。また、自然災害や事故、急病、けがについての説明や対処法が充実していると思った。

Ｄ者は、導入部分として、スポーツと世界、社会、人間、個人について、スポーツが人間や社会を変革・改善する力があるということを説明して生徒の関心を引くようにしている。挿絵やイラストが単純化されており、非常に分かりやすい紙面、分かりやすい配置になっていると思った。

後　藤　委　員　Ａ者は、中学生の心身の成長に必要な様々な視点が掲載されており、基礎的な学習から発展的な学びまで展開できるように配慮されていると思う。「学習のまとめ」として、振り返りの言葉掛けがあるのもいいと思う。また、２年保健の「健康な生活と病気の予防②」では、テーマについてグループでの話合い活動を提案しており、言語活動の充実に対しての配慮も見られる。

Ｂ者は、学ぶ内容が見開き２ページですっきりと整理されており、見やすく分かりやすい。章末資料が充実しており、実際の生活や生徒の身近な問題から地球規模の課題まで、多様な内容で興味・関心を引く工夫があると思った。

Ｃ者は、「話し合ってみよう」をページの終わりに置くのではなく、右側のページの上部に置くことで、授業のまとめとしての言語活動、話合いではなく、話し合うことから学びを深めていけるような工夫があると思った。イラストも内容が伝わりやすく、分かりやすいと思う。

Ｄ者は、「ウォームアップ課題の発見」で学びの目当てを確認してから進められる特長があると思った。一目で内容の伝わるイラストを多く使用しており、分かりやすく伝える工夫がある。基礎的・基本的な学習の定着に配慮があると思った。

教　　育　　長　この種目については、４者ということで、３者に絞り込みたいと思う。各委員から、３者挙げていただきたい。

山　田　委　員　Ａ者、Ｂ者、Ｃ者。
庄　司　委　員　Ａ者、Ｂ者、Ｃ者。
長谷川　委　員　Ａ者、Ｂ者、Ｄ者。
花　渕　委　員　Ａ者、Ｂ者、Ｄ者。
川　又　委　員　Ａ者、Ｂ者、Ｃ者。
後　藤　委　員　Ａ者、Ｂ者、Ｃ者。

教　　育　　長　Ａ者については６人の委員から、Ｂ者については６人の委員から、Ｃ者については４人の委員から、Ｄ者については２人の委員からご推薦をいただいた。Ａ者、Ｂ者、Ｃ者の３者で議論を進めてまいりたいと思うがよろしいか。

（異議なし）

教　　育　　長　それでは、この段階で何か確認したいこと、そしてご質問、ご意見あればお願いしたいと思うが、よろしいか。

（質疑なし）

教　　育　　長　それでは、このＡ者、Ｂ者、Ｃ者の中から１者に絞り込んでいきたいと思う。１者を推薦いただき、その理由もお聞かせいただければと思う。

山　田　委　員　Ｂ者でお願いしたい。理由は、先ほどもお話しした、「見つける」「課題の解決」、そして「活用する」の流れになっているが、「見つける」の問いかけが具体的で分か

りやすいのがよいと思った。
庄　司　委　員　Ｂ者である。「巻末スキルブック」が、先ほども申し上げたが、学習した内容に関するスキルが１か所にまとめられていて大変見やすく、役立つ資料だと感じた。
長谷川　委　員　私もＢ者である。１つ目は、色味や文字の大きさ、図表の配置などがとても見やすい。２つ目が、「見つける」「課題の解決」の流れで、学習に取り組みやすい。
花　渕　委　員　私もＢ者でお願いする。心身の健康の大切さを理解して、健康な体づくりと体力、運動能力の向上を目指すという観点に立った内容になっている。また、現代的な諸問題についても、きちんと取り上げており、対応していると思う。
川　又　委　員　Ｂ者でお願いする。Ｂ者の特長としては、これまでの保健体育で扱ってきたスポーツや体と心の問題だけではなく、ＳＤＧｓやテクノロジーの進化、情報の活用など私たちの未来にかかわる現代的な課題もうまく取り入れているのではないかと思う。
後　藤　委　員　私は、Ａ者を推薦する。理由は、Ａ者とＢ者でとても悩んだが、よりＡ者のほうが現代的な問題にアプローチしており、深く切り込んでいるのではないかと思った点に加え、データや実例、写真が細かに掲載されており、言葉だけではない説得力を感じたからである。
教　　育　　長　今までのご議論を総合すると、Ｂ者について、現代的な課題が取り上げられていること、問い掛けからはじめることで、学習の流れが非常に分かりやすいのではないかということ、それから「巻末スキルブック」が見やすいということ、色味などの見やすさに優れているのではないかというご意見があった。一方、Ａ者については、こちらも現代的な課題を取り上げており、例えば写真などのデータによって、ビジュアル的にも分かりやすいものになっているのではないかというご意見があった。
　総じて、Ａ者、Ｂ者、拮抗しているが、委員の皆さんとしてはＢ者のほうが多いようである。後藤委員からも、Ａ者、Ｂ者、非常に拮抗しているとのご意見があったが、ここはＢ者ということでよろしいか。
長谷川　委　員　Ｂ者ということでもちろんいいが、その採択理由の中で、性の多様性に触れている点を入れていただきたいと思う。
教　　育　　長　今ほどあった、性の多様性に触れているという点も、採択理由の中に入れたいと考えている。
　「保健体育」については、Ｂ者を採択候補ということでよろしいか。
（異議なし）
教　　育　　長　それでは、「保健体育」については、Ｂ者ということでご議論いただいた内容を採択理由として、事務局で整理の上、７月26日に最終的に決定したいと思う。

【数学】
教　　育　　長　それでは、再協議となっている「数学」に戻りたいと思う。
　Ｃ者とＤ者ということで議論を始めたいと思うが、何かご意見、ご質問、確認したいことはあるか。
（質疑なし）
教　　育　　長　この議論については、多数決ということではなく、皆さんの合意を得ながら進めてまいりたいと考えている。そうした前提条件の下で議論を進めていきたい。
　これまで、私の意見を申し述べてこなかったが、私としてはＤ者がよいと考えている。その理由の一つとして、Ｄ者については、３者に絞る段階で６人の方々がＤ者を推薦されたということ、それから委員の方々からもご意見があったが、身近な題材が多く、日常生活、身の回りから、数学の重要性や数学の活用について迫っていっていること、紙面が非常に見やすいこと、またイラストなども効果的に使用していることを理由としたい。
　今ほど、初めて私の意見を述べたので、これを含めて、何かご意見は各委員からあるか。最終的にもう一回、皆さんのご意見を聞いていきたいと思う。
花　渕　委　員　私は、Ｄ者ということでよいのではないかと言っていた。いろいろな子供たちがいるので、当然、数学が得意な子、不得意な子がいる。どの子にとっても使いやすい教科書という視点から見ると、Ｄ者のほうが優れているのではないかと思った。非常に

平易な表現で、子供たちの思考に沿った書き方になっているのではないかと思った。なおかつ、数学に限らないが、数学の場合は特に「分かった」から「できた」へ理解を深めることが重要だと考える。D者の教科書がスムーズに「分かった」から「できた」へつながるような教科書のつくりになっていると思った。

川　又　委　員　私は、最初、F者としたが、C者かD者かということであれば、D者ということでお話をした。D者の教科書では、数学と我々の日常生活や社会、それからＩＣＴとのつながりがとてもよく記載されていると思う。D者の教科書を使用することで多くの学生にとって数学が身近なものになるのではないかと思う。D者ということで結構である。

後　藤　委　員　どちらの教科書を選んでも、とてもいい教科書だと思う。私はC者を推薦していたが、D者のよさとしては、章のはじめに、数学に身近な写真などで子供たちの興味・関心を引く仕組みがとても上手だと思った。また、巻末に発展的な数学のミニ知識が載っていて、子供たちは教科書を見たときにこの後ろのページを見て楽しむと思う。

山　田　委　員　私も最初はC者を推していた。C者はやはり消費者的な考え方が入っているのがいいと思っていたが、C者とD者はどちらも本当に遜色なく、どちらにしようかと非常に迷ったところでもある。D者は非常にこなれているというか、非常に分かりやすく、章の最初に必ず入りやすいテーマ、身近なテーマを設定している点は非常によいと思っていたので、私もD者でよいと思う。

庄　司　委　員　私もD者を推薦したいと思う。先ほどから申し上げているが、式を解くなど問題だけではなく、数学の学び方や解き方、例えば「数学の自由研究」や「数学の目でふり返ろう」など、数学が楽しいところに発展していくと感じたので、生徒たちが自由にこういった課題に取り組めるような工夫があり、よいと感じた。

長谷川　委　員　C者もD者もすばらしい教科書だと思う。本当にどちらもすばらしいのだが、私はC者を推薦していた。D者ももちろんすばらしいと思う。D者のよさを考えたところ、こなれているという表現があったが本当にそうで、まるで教科書ではないかのように明るく、数学嫌いな子も入りやすい紙面構成になっていると思う。

教　　育　　長　今ほど、総じてD者でもよろしいのではないかというようなお話があったが、D者を採択候補とすることでよろしいか。

（異議なし）

教　　育　　長　ということで、D者を採択候補としたいと考えている。

「数学」については、ご議論いただいた内容を採択理由として、事務局に整理していただきながら、７月26日に最終的に決定したいと思う。

これで、一旦休憩とさせていただいて、10分程度休憩する。午後４時40分再開ということでお願いしたい。

（休憩　午後４時29分～午後４時40分）

【一般図書及び文部科学省著作教科書】

教　　育　　長　それでは、再開する。

特別支援学校小学部・中学部、小学校・中学校特別支援学級で使用する一般図書及び文部科学省著作教科書について協議をする。

特別支援教育課長から説明をお願いする。

特別支援教育課長　特別支援学校小学部・中学部、小学校・中学校特別支援学級で使用する一般図書及び文部科学省著作教科書について説明する。

はじめに、一般図書について、資料の別添２の後半部分をご覧いただきたい。令和７年度使用学校教育法附則第９条の規定による教科用図書（一般図書）及び文部科学省著作教科書（中学部用）一覧という部分からである。

この別添２の後半にお示ししている教科用図書一覧には、教科用図書協議会より、採択方針、採択基準から見て適切であると判断するとの報告をいただいた図書を掲載している。

一般図書については、採択候補とする図書が176冊ある。この一覧の見方であるが、

表紙から１枚めくると一覧表の１枚目が出てくるかと思う。通し番号の１番から振ってあるところである。こちらをご覧いただきたい。

「種目」欄に、通し番号２番のように「生活／道徳」など２つの種目が書かれている図書がある。これは、「生活」の教科用図書としても、「道徳」の教科用図書としても、どちらでも使えるということを表している。

その右隣の「Ｒ７表示番号」の欄には、「小１」「小Ｂ」などと書かれている。この欄の「小」は小学部、小学校、「中」は中学部、中学校を対象とした図書であることを表している。その後に数字が書かれているものは、宮城県教育委員会から示された令和７年度使用学校教育法附則第９条の規定による教科用図書（一般図書）選定資料を参考として選定した図書である。

次のページをお開きいただきたい。通し番号40番の「小Ａ」などのようにアルファベットが書かれているものは、仙台市教育委員会事務局がさらに独自に採択候補とした図書である。

次に、資料４、令和７年度使用学校教育法附則第９条の規定による教科用図書（一般図書）一覧（案）をご覧いただきたい。

初めに、１ページをお開きいただきたい。

今年度、新たに採択候補として掲載している図書は、宮城県から示されたものが17冊、仙台市が独自に採択候補としたものが２冊である。これらの新たに採択候補とする図書については、全ての図書において、教科用図書協議会から肯定的な評価を頂戴するなど、宮城県の採択基準、本市の採択方針及び採択の観点から見て適切であるとの報告をいただいている。

次に、２ページをご覧いただきたい。

継続採択候補としない図書として、図書一覧から除外したものについてご説明する。

小17、「子どもの生活（３）マナーをきちんとおぼえよう！」については、教科用図書協議会で協議いただいた結果、例えば公衆トイレの使い方や食事の仕方、手洗いの仕方などの中に、現在の生活に適さないマナーや、黒電話といった現代の生活では目にしないものが使われているということ、そしてこの図書に代わるものも複数用意されているということから、採択候補とせず、一覧から除外している。

同じ資料の８ページをご覧いただきたい。こちらには、昨年度まで採択されていた図書のうち、今年度、増刷や重版などの見込みがないことから供給できなくなった図書を載せており、こちらの図書も一覧から除外している。

続いて、文部科学省著作教科書についてである。資料５、令和７年度使用仙台市立特別支援学校及び特別支援学級教科用図書、文部科学省著作教科書（中学部用）一覧である。今年度は、文部科学省著作教科書のうち、特別支援学校中学部用、中学校特別支援学級用が採択の対象となっている。合わせて12冊ある。

教科用図書協議会では、ここに掲載されている全ての図書において、教科書として適切であるとのご判断をいただいている。特に、令和７年度から使用できるようになる「社会」「理科」「職業・家庭」の教科書については、例えば「職業・家庭」の教科書についての意見として、「進路学習、マナーなどがよくまとめられおり、生徒にとっては将来の生活にも役立つものである」といったものなど、３教科全てにおいて肯定的な意見をいただいた。

それぞれの図書については、この後の閲覧時間に手に取ってご覧になり、内容等をご確認いただきたいと思う。

教　　育　　長　それでは、ただいまから、確認の意味で、一般図書及び文部科学省著作教科書についての閲覧時間を取りたいと思う。午後５時に協議を再開する。

（図書閲覧　午後４時52分～午後５時00分）

教　　育　　長　それでは、協議を再開する。

今ほど閲覧いただいた図書について、ご意見、ご質問等はあるか。特に、不適切といったことについてなど、ご意見はないか。

（質疑なし）

教　　育　　長　ご意見はなかった。また、特に不適切であるとの意見もなかったので、特別支援学校及び特別支援学級教科用図書については、資料４に示された図書のうち、「新規採択候補となっている図書」及び「継続採択候補となっている図書」、資料５に示された文部科学省著作教科書12冊を採択候補とするということでよろしいか。

（異議なし）

教　　育　　長　ただいまご審議いただいた内容を採択理由として、事務局で整理の上、７月26日に最終的に決定したいと思う。よろしいか。

（異議なし）

教　　育　　長　これをもって、協議事項の全てを終了したいと思う。

以上をもって、本日の臨時教育委員会を閉会する。

４　閉　　会